園だより

令和元年 11 月 1 日

社会福祉法人新田保育園
園長　野村　陽子

台風 19 号からの教訓・運動会閉会の園長挨拶より

～乳児クラス保護者の方はお帰りになられた為、改めて伝えさせていただきます～

大きな大きな台風 19 号が 1 週間前にやってきました。私たちの住んでいる新田の町には、大きな被害はありませんでした。でも、他の町ではおうちや保育園の中まで、川の水が入ってきてしまいました。もしも、新田保育園の中まで川の水が入ってきてしまったら、今日の運動会を行うことはできませんでした。ですから、こうしてみんなで運動会ができたこと。心からありがたく思いましょう。

あなたたちの頑張る姿。あきらめないところ。お友達と心をあわせる姿。うまくいったこと、思ったようにできなかったこと。様々なことがあったと思いますが、うれしい気持ちも悔しい気持ちも、君たちの心と体を大きくたくましくしていきます。頑張った子どもたちを会場の皆さま、大きな拍手でほめてあげてください。

ご来賓の皆さま。ご近所の皆さま。保護者の皆さま。新田保育園の運動会に愛情をくださり、ありがとうございます。そして会場を貸してくださいました新田高校の校長先生、副校長先生、諸先生方、生徒の皆さん。今回は道具係としてもボランティアの生徒さんが力を貸してくださいました。心よりお礼申し上げます。

さて、子どもたちにも話しましたが、先週の台風では足立区として初めて保育園を休園するようにという通達が出ました。従来保育園は保護者の就労を支援するという役割から、「園を休みにするようなことはしてはならない」とされております。しかし今回の台風は、今までの考えを覆すような大きな台風でした。休み明け 15 日に開催された、足立区の私立園長会で区から出された情報によると、「荒川の数値的には限界値を超えており、水があふれなくても堤防が決壊してもおかしくない状況だった」とのことです。このような状況を考えると、次回同じような規模の台風が来た場合、今回のように『休園』という対応は、子どもたちの命を守るためには必要な判断です。今回は土曜日ということで、土曜出勤の保護者の方にだけお仕事を休んでいただいたのですが、平日に大きな台風がくるということは十分に予測できることです。私も今回の経験により、保育を行うことで子どもたちを危険にさらすのであれば『休園』という判断も必要であると考えております。

そして地球環境の変化により、異常気象になっているのだとするならば、今後大きい台風の数は増えるという話もあります。ここにいる子どもたちにどういう地球を残していくのか。重いテーマです。しかし今日の子どもたちのがんばり、成長。お友達と心を合わせる姿を見ると、私たち大人もごみの分別、プラスチックごみを出さないようにする、などできることから始めてまいりましょう。

子どもたちの成長を皆さまと喜び合えたことに感謝し、運動会が開催できたことに感謝します。本日はありがとうございました。

十一月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		絵本シアターイン新田保育園				避難訓練	鼻のかみ方指導日	健康体育			ぞうぐみ卒園遠足・個人面談	誕生会・写真撮影			ダンスの日					健診0・5歳		おみせやさんごっこバザー実行委員会			うがい指導日	土手で写真撮影				バザー	